

5 RC造外断熱 金属胴縁工法の標準施工

5-4 各部材の施工

1) 寸切りボルトの施工

① 寸切ボルトの選定

M12サイズ寸切ボルトを使用します。

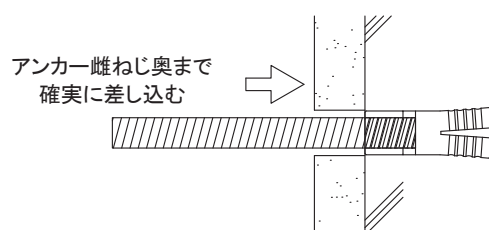
●材質は原則アンカーと同じものを使用します。

●ボルト長の目安は「使用する断熱材+60～65mm」前後の長さを選定します。

(RC外壁仕上げがモルタル仕上げの場合、仕上げ厚も考慮して長さを選定してください。)

② 寸切ボルトの取り付け

●寸切ボルトはアンカーの雌ねじ部に全ねじソケットやプライヤを使用して奥までしっかり差し込みます。



●寸切ボルトをやむを得ず現場切断する際、切断面は防錆処理が施されていないため、錆止め塗料などを塗布するなどの防錆処理をしてください。

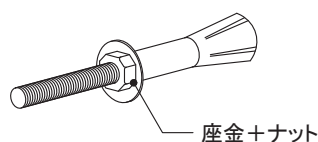
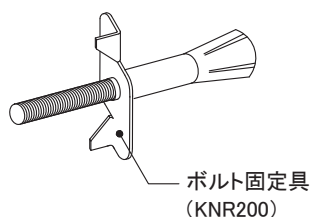
また、寸切ボルト切断時に発生する火の粉が断熱材に飛散しないよう十分に養生してください。

●ボルト差し込み後、ボルト固定具(KNR200)もしくは座金・ナットにて固定します。

(壁面から突出したボルトのグラつきがないようにしっかり固定してください。)

ボルト固定具(KNR200)は立ち上がり羽根部分をハンマーで叩き、緩まないように固定します。

スパナ、レンチなどの専用工具は不要です。



●アンカーが傾いて施工された場合など、RC躯体から斜めにボルトが突出している場合は、パイプなどを用いて傾きを修正してから断熱材の施工に進んでください。

